

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	社会福祉法人 同 伸 会	代表者	澤田 章	法人・ 事業所 の特徴	「すべては地域のために」を法人理念とし、事業所では本人の想いや願いを大切に、家族・地域みんなで納得し、おりあいをつけながら、生活の継続ができるよう、また、個々の人財を活かし、高い倫理性を持った職場づくりと、地域に開かれた求められる福祉拠点を目指しています。
事業所名	小規模多機能ホーム にいだ	管理者	斎藤 竜也		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1 人	0 人	7 人	0 人	0 人	1 人	1 人	2 人	0 人	12 人
項 目	前回の改善計画			前回の改善計画に対する取組み・結果			意見		今回の改善計画	
A. 事業所自己評価の確認	利用者対応を軸に業務改善を図り、関わりの充足に努める。関わりを充足することで、自己評価において自己肯定につなげていけるよう取り組む。			前回のサービス評価後に自分達の取り組みをあまり謙遜せずに評価し、自分達のモチベーション維持・向上につなげられるよう説明を行ってきたが、どうしても自己評価時には厳しめに評価してしまう傾向にあった。			力を入れた項目、課題が残った項目に焦点を当てていてわかりやすいと思います。前回との比較で少しでも改善できたことをもっと拾って自分達のモチベーションにつなげて欲しいです。		利用者対応、職員の健全な働き方を軸に業務改善を図り、自己評価において自己肯定感・自己有用感の向上につなげていけるよう取り組む。	
B. 事業所のしつらえ・環境	各所建物の経年劣化が見られてきている所は、継続して必要な修繕や購入も検討しながら、利用者のご不便につながらないようにしていく。			修繕できるものは修繕、購入必要な物は購入し、利用者のご不便にならないよう、また、職員の就業環境も担保できるよう取り組んだ。			利用者に不利益となることや危険が生じないよう、また、職員の労働環境も安全になれるよう、これからも対応していただきます。		各所建物の経年劣化が見られてきている所は、継続して必要な修繕や購入も検討しながら、利用者のご不便につながらないようにしていく。	
C. 事業所と地域のかかわり	可能な範囲で参加可能な行事やイベント等へ参加させていただき、事業所と地域のかかわりが維持できるよう取り組む。			業務との兼ね合いも考慮しながら、可能な範囲で地域行事等へ参加してきた。			今後も無理のない範囲で取り組んでください。		可能な範囲で参加可能な行事やイベント等へ参加させていただき、事業所と地域のかかわりが維持できるよう取り組む。	
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	訪問時の様子や利用者と家族の関係性等をきちんと職員間で情報共有し、統一した支援ができるよう取り組んでいく。また、不安定さを全て支援するのではなく、本人や家族ができる方法を一緒に検討し、支援していく。			訪問時に気づいたことや状況に合わせた支援内容をミーティングや記録に残すことで情報共有を図ってきた。また、利用者の行っている家事を危うさと捉えるのではなく、維持されているという視点で捉えて支援を行ってきた。			職員間の情報共有はとても大事だと思うので、今後もコミュニケーションを大事にして取り組んで欲しいです。		利用者の生活と共に、支援する家族の生活も守られるよう、本人の役割、家族の役割、事業所の役割を相談しながら明確にし、それぞれに過度な負担がかからないよう取り組む。	
E. 運営推進会議を活かした取組み	課題都度、自分達を律し対策を講じていくことで精神的負担も大きく、仕事に対するモチベーション低下にもつながる可能性がある為、客観的視点からの助言やアドバイスを活かし、事業所運営に取り組む。			アクシデント発生時の対応策等を検討の際は、100 点の対応策を講じようとして業務に組み込むには厳しい内容の対応策を講じることが多かったが、100 点を目指さずに決めた対応策を講じていきながらブラッシュアップを図っていくことを徹底してきた。			真面目に取り組むことも大事ですが、あまり自分達に厳しくしてしまうと、疲弊してしまつて離職につながってしまう可能性もあるので、もう少し肩の力を抜いて頑張りたいです。		日頃の自分達の頑張りを認め合い、褒め合う風土、コミュニケーションが活性化される取り組みを行っていく。	
F. 事業所の防災・災害対策	職員に対して BCP の周知、訓練を通しての見直しを図りながら実際の現場に即したものと精度を上げていく。			BCP の説明、召集訓練を通して、職員各々が感じた課題や提案もあり、法人の委員会へ提言することもできた。			実施して気づいたこと、感じたことを声に出して改善を図って欲しいです。地域住民としては福祉避難所の流れの詳細が知りたいと思っています。		法人 BCP を元に事業所単独で行動のフローチャートを作成し、確認しながら動きが取れる仕組みを構築する。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 27 日 (14:00 ~ 14:20)
1. 初期支援 (はじめのかかわり)	メンバー	福田・佐藤・加藤・澤口・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	10 人	3 人	0 人	13 人

前回の改善計画	発信方法や記録内容が分かりづらい物もあった為、発信方法や記録内容の統一化を図り、対応方法だけでなく対応の根拠まで記録することでケアの統一につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・危険なことや大事なことは記録やミーティングで共有できている。 ・個人では厳しく言えばあまりできていないと思う部分もあるが、事業所としてはなんとかできていると思う。 ・事前情報と違いがある場合もあるが、そういう時でも情報を共有し合い、対応できている。 ・意識的に行えている時は対応根拠と対応方法がリンクするような記録になっているが、意識的に行えていない時にはどうしても対応方法のみの記載で根拠とつながらないこともあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	12	0	0	13 人
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	1	12	0	0	13 人
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	3	10	0	0	13 人
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	0	11	2	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・利用開始前はアセスメントシートを閲覧できている。また、ケアマネジャーからミーティング時に情報提供があり、職員間で共有できている。 ・新規利用者のサービス提供に関わった職員から気づき等、ミーティング時に些細なことでも情報提供が随時行われ共有しあっている。 ・朝、昼のミーティングで一日の流れや夜勤者からの情報を得ることで、日中に観察が必要なことやケア、注意点等を共有している。 ・記録物もファイル分けしてあり確認しやすく、ケアにつなげることができている。
--------	---

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用開始後に情報が増えたり、事前情報と違うことで対応が変更になることもある為、忘れたり違う対応をしてしまうことがある。 ・連休明けで記録を遡って確認しても把握が不十分なまま時間に追われてしまい、他職員に大きな変化がないかだけで終わってしまうことがある。 ・家族の困り事や不安等はケアマネジャーがモニタリング等で聞き取りできているが、自分達は送迎時以外あまり直接的な接点がなく、次の送迎もありなかなか積極的な関係作りができていないと感じる。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
家族が在宅の場合、事業所から送る前に連絡帳の確認、記録者や看護職員から日中の補足等を確認し、送り時に直接伝えることでコミュニケーション機会を広げ、利用初期から関係作りを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 28 日 (14:00 ~ 14:20)
2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)	メンバー	福田・佐藤・澤口・大屋・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	7 人	6 人	0 人	13 人

前回の改善計画	自分達に対応したり提供してみた余暇の状況等を踏まえ、ケアマネジャーに提案していくことでケアプラン作成に参画していき、ケアプランの位置付け、重要性を再確認していく。ケアマネジャーがケアプラン更新 1ヶ月前に提示し、職員から意見を確認していく。職員もケアマネジャーへ余暇活動や日中の様子等を伝え忘れの無いように注意していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ケアプランの更新月は提示してあるが把握まではできていないこともあり、ケアマネへの情報提供や提案はできる時とできていない時があった。 ・モニタリングの記録はファイリング等、工夫をしてみんなで情報を共有できる仕組みにした。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	0	5	8	0	13 人
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	0	9	4	0	13 人
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	0	7	6	0	13 人
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	0	8	5	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・モニタリングの内容が常に閲覧でき、利用者の過程での状況が常に知ることができている。(本人の自己実現、目標) ・利用者の気づき、変化等があった時は以前よりケアマネジャーに報告できるようになった。 ・利用者の様子は日々変化があるので、ミーティングで発信し対応方法等の確認ができている。 ・ケアプラン更新 1ヶ月前とまではいかないまでも、日中の様子等、伝え漏れの無いよう話をしている	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ヒヤリハットやマイナス面での報告はミーティング等で伝えているが、反応が良かったこと等はあまり伝えられていない。 ・モニタリングの内容を確認しているが、落とし込めておらず対応が不十分なことがある。 ・本人の目標を目指した関わりという所でいうと、支援者声掛け等、取り組みに工夫が足りなかったように感じる。コミュニケーションや自立支援、余暇活動の提案等、その日の落ち着いた雰囲気のまま何となく過ごした場面が多かった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
家族が在宅の場合、事業所から送る前に連絡帳の確認、記録者や看護職員から日中の補足等を確認し、送り時に直接伝えることでコミュニケーション機会を広げ、利用初期から関係作りを行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 29 日 (14 : 00 ~ 14 : 35)
3. 日常生活の支援	メンバー	佐々木・佐藤・信田・加藤・澤口・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	12 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	記憶の仕方を見直し事実のみを記録に残すようにし、読んだ人が同じ目線で理解できるようにしていく。また、記録に目を通した上で不明な点については、後回しにせずきちんと確認しあうようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・全てとはいかなかったが、都度記録に残すことができています。記録入力忘れがあっても、お互いに声を掛け合い記録入力ができるようになりました。 ・記録はできているが、文章力によって読み手への伝わり方が変わってくる為、違ったニュアンスで伝わることもあり、統一の難しさがあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか？	0	6	6	1	13 人
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか？	2	10	1	0	13 人
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか？	0	12	1	0	13 人
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか？	1	12	0	0	13 人
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか？	1	12	0	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者との日々の関わりの中で本人の新しい情報や思い等、知り得た時はミーティング時に情報提供、共有できている。 ・利用者の体調変化、生活の変化等に合わせ食事形態や提供の仕方、入浴、排泄に中止し対応している。 ・モニタリング記録やアセスメントシートから以前の暮らし方の情報を得て支援できている。 ・記録に関しては、声を掛け合いながら漏れのないよう努めている。内容も不明点や不足等があれば、都度声掛けができています。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・利用者によって把握できている「以前の暮らし方」の詳細に差があり、本人が望む支援なのか判断ができない時がある。 ・記録に目を通した時、不明な点について業務に追われ、確認できない時もあった。 ・利用していない時間帯の自宅での状況について把握しづらい方もいる。 ・気づき、変化の記録入力の際、職員の情報の取捨選択の違いがあるように思う時がある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
介護補助員やボランティアの活用で業務負担が軽減できている為、本人が望む生活、望む支援を把握できるよう関わりを充足していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 30 日 (14 : 00 ~ 14 : 15)
4. 地域での暮らしの支援	メンバー	斎藤・福田・佐々木・佐藤・信田・村上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	1 人	11 人	1 人	0 人	13 人

前回の改善計画	現在、家族と同居している方の利用割合が高いことから、家族の就労状況を加味することで通い・宿泊の利用頻度が高くなっている為、可能な限り自宅で過ごせる時間を確保し、在宅生活が途切れない支援方法を本人・家族と一緒に相談していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・家族の就労状況やレスパイトでの利用頻度が高く、また、家族の介護力や生活状況により週の大半が宿泊の方も多。その中で、本人と家族の関係維持や在宅生活が途切れないよう、互いに協力しながら少しでも自宅で過ごせる時間を作るよう取り組んできた。しかし、依然として入居施設の代替えや長期短期の代替えとしての新規相談も一定数ある為、今後も在宅生活が途切れない支援の取り組みは重要と捉える。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか？	0	8	5	0	13 人
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか？	0	11	2	0	13 人
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか？	0	5	7	1	13 人
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか？	0	7	4	2	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者の家庭での状況は、モニタリング時の内容を常に閲覧でき共有できている。 ・利用者とのコミュニケーションの中で、近所の方と付き合いをされていることがわかる時もあり、その時は情報をミーティングで発信し共有している。 ・ケアマネジャーが中心に必要なに応じて高齢者支援センターと連携を図っている。 ・ケアマネジャーを中心とし、家族の状況を加味しながら相談等、できているのではないかなと思う。また、本人の生活スタイルや周囲との関係を壊さないよう気をつけながら支援をしていると思う。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・自宅での生活状況をどこまで把握できているかわからない。 ・地域資源の把握ができていない。 ・地域住民と利用者の関係性について把握できていないことが多い。 ・家族によっては利用者のこれまでの情報を把握していない方もあり、情報が乏しい方もいる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
現在、家族と同居している方の利用割合が高いことから、家族の就労状況を加味することで通い・宿泊の利用頻度が高くなっている為、可能な限り自宅で過ごせる時間を確保し、在宅生活が途切れない支援方法を本人・家族と一緒に相談していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 10 月 31 日 (13 : 45 ~ 14 : 15)
5. 多機能性ある柔軟な支援	メンバー	斎藤・福田・島脇・加藤・村上・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	11 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	依然として独居者や高齢世帯の方々の利用率は減少し、家族と同居している方の利用率が高くなっていて、家族の就労に合わせて支援を組み立てる必要性が高くなってきている為、支援の必要性を見極め、本人・家族・事業所の役割の明確化を継続して取り組んでいく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・家族と相談しできる支援をお願いし、家族としての役割を持っていただくことで本にと家族の接点を作る、もしくは維持できるように取り組んだ。 ・家族の状況もあり、通い、宿泊のサービス量が増えている方もあるが、家族にお願いできるところはお願いし、双方がそれぞれの役割をこなせているのではと思う。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たちの事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか？	0	8	4	1	13 人
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか？	3	10	0	0	13 人
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか？	1	11	1	0	13 人
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか？	2	11	0	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者、家族の状況に応じて臨時宿泊、通いスポット利用等、柔軟な支援ができている。 ・常に本人の変化、気づきはミーティングや申し送りで情報共有されている。 ・利用者とのコミュニケーションの中で近所の付き合いもされていることがわかる時もある。 ・シニアはつらつポイントボランティアの方が週 1 回来てくれている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・ミーティングで情報共有できているが、休み等で参加できなかった時の情報が時間に迫られて確認が不十分なまま支援にあたってしまうこともあった。 ・地域資源の活用方法がわからない。どう結び付けていけるのか実際に関わったことがない。 ・通い、訪問、宿泊は自分達の中で必要と捉え提供しているが、ニーズなのかデマンドなのか不明確なこともある。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の変化や気づきはミーティング等で発信されているが、職員の主観的な情報も見られる為、どのように対応したのか、どのような対応が必要なのかを他職種で話し合う機会を多く持ち、客観的な視点で支援を行う。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 11 月 1 日 (14 : 00 ~ 14 : 15)
6. 連携・協働	メンバー	福田・佐藤・島脇・加藤・村上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	1 人	9 人	3 人	13 人

前回の改善計画	非常災害時や火災等の有事の際に避難誘導や見守り等について、特に夜間は近隣住民の協力が不可欠である為、災害協力員として協力をいただけることとなった 3 名の方と、協力して欲しい内容や実際の動き等について説明を行うと共に、関係構築を図っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・災害協力員の方々への具体的な説明はできていない。口頭で火災で非常ベルが聞こえた時は駆けつけて欲しいこと、巨大地震が発生した際には自身の身の安全が最優先である旨を伝えるにとどまっている。 ・普段から地域の方々が気軽に訪れることも無く、また、人員も少ない状況で利用者支援、管理者業務、ケアマネ業務を過不足なく実施していくことが最優先で、なかなか地域にまで手を出せずにいた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関（医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所）との会議を行っていますか？	2	5	3	3	13 人
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか？	0	6	2	5	13 人
③	地域の各種機関・団体（自治体、町内会、婦人会、消防団等）の活動やイベントに参加していますか？	1	7	0	5	13 人
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか？	0	11	1	1	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・地域の行事、イベントにボランティアで参加している。 ・町内の保育園と連絡を取り合い、定例行事への参加、交流は継続できている。 ・運営推進会議を定期的開催し地域住民や他事業所へ報告している。 ・福祉用具貸与事業所等とケアマネジャーが定期的に会議を行っている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・他サービス機関や自治体、地域包括支援センターとの会議はケアマネジャーが参加しているが、他職員は参加していない。 ・コロナ禍以前のような地域合同避難訓練や交流会は行っていない。 ・近所の方に挨拶はするが、顔と名前まではわからない。 ・災害協力員と協力できているかは不明。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
非常災害時や火災等の有事の際に避難誘導や見守り等について、特に夜間は近隣住民の協力が不可欠である為、災害協力員として協力をいただけることとなった 3 名の方と、協力して欲しい内容や実際の動き等について説明を行うと共に、関係構築を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 11 月 2 日 (13 : 45 ~ 14 : 05)
7. 運営	メンバー	佐々木・佐藤・島脇・加藤・土橋・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	0 人	9 人	4 人	0 人	13 人

前回の改善計画	サービス増加が顕著である為、限られた人員で介護の質を担保しながら過不足ない支援、不随業務を遂行していけるよう、適宜実際に即した業務改善を図っていく。また全職員が運営推進会議の議事録を回覧し、地域との関わりを理解していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・介護補助員の採用や週 1 回のシニアはつらつポイントボランティアの活用により、間接業務を依頼することができるようになった。また、クックチルを導入したことにより、これまで 1 日調理業務に従事していた介護職員が利用者介助に入れる時間が確保できるようになった。 ・運営推進会議は管理者と職員を交代しながら毎回 2 名体制で参加できていることで、地域との関わりへの理解はこれまでよりも得られている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができていますか?	0	6	7	0	13 人
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	12	1	0	13 人
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	0	8	3	2	13 人
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	0	7	2	4	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議が定期的開催されており、助言を頂いたり、改善策の話し合いはできている。 ・介護補助員、クックチル導入により、空いた時間は利用者対応に割けるようになった。 ・地域からの意見等については管理者指示のもと、対応している。 ・利用者や家族からの意見や苦情等があれば、記録や申し送りで残し、その場にいない職員へも内容が伝わるように対応できている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・介護補助員の方が増えたことで時間や気持ちの余裕、負担の軽減は図れたが、それが介護の質の担保、業務改善にどう活かされているのかは疑問を抱く場面もある。 ・午睡後の時間の活用の仕方が不十分。特にレクリエーション等、活動が充実されていない。 ・支援について課題ばかりに目が向きマイナス発言が増えてきているように感じ、意見を出しにくいこともある。 ・事業所の在り方についてあまり意見を言えていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
サービス増加が顕著である為、限られた人員で介護の質を担保しながら過不足ない支援、不随業務を遂行していけるよう、適宜実際に即した業務改善を図っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式	実施日	令和 7 年 11 月 3 日 (13 : 55 ~ 14 : 10)
8. 質を向上するための取組み	メンバー	斎藤・佐々木・島脇・大屋・土橋・坂上

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	7 人	5 人	1 人	13 人

前回の改善計画	オンデマンド研修から事業所内研修開催へ変更となる為、研修計画に基づき、講師を職員が担っていく。研修資料作成から携わることで、知識・スキルの向上を図る。
前回の改善計画に対する取組み結果	令和7年度より法人で法定研修を各職域から1名参加で実施し、各職域で伝達研修を行う仕組みとなった為、事業所で立案した内部研修計画に基づき、職員が講師を担い、資料作成を通して学びを得るという流れではできなかったが、研修を受けた職員が事業所内で伝達研修を行うことで、得た知識・スキルを振り替えるきっかけとなっている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修（職場内・職場外）を実施・参加していますか？	0	11	1	1	13 人
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか？	0	4	6	3	13 人
③	地域連絡会に参加していますか？	0	3	0	10	13 人
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか？	0	9	2	2	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・法定研修等に参加した職員から伝達研修が実施されており、知識、スキルアップにつながっている。 ・アクシデント、インシデント、ヒヤリハットは職員全体で話し合い、対策を講じている。 ・リスクマネジメントについては積極的に記録に残している。 ・伝達研修を行う際には事前に法定研修に参加した職員が資料を配布している為、受講前に目通しすることができる。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・職場外の研修や資格取得に向けての取り組みができていない。 ・日々の業務に追われていて、資格取得や外部研修参加等、自己研鑽に時間を費やす余裕がない。 ・地域連絡会には参加したことがない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
業務改善の目的が職員の負担軽減が主になっている側面もある為、サービスの質、利用者の満足度の向上を主目的だということを再認識し、業務改善を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 7 年 11 月 4 日 (14 : 00 ~ 14 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 斎藤・福田・佐々木・信田・大屋・土橋

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか？	0 人	11 人	2 人	0 人	13 人

前回の改善計画	重要性が高い為、引き続き職員間で声を掛け合いながら、利用者様の見守りと通常業務遂行に対して組み立てを行い安全な体制を整えることで、人権・プライバシーに配慮したケアを提供していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者の見守りに関しては職員が無意識にその場から離れないよう職員間で声を掛け合う重要性を過去の事例から学び、意識的に取り組むことができてきている。プライバシーの配慮について、職員間だけで伝わる隠語等も試してみているが、咄嗟の場面では隠語の使用が抜けてしまうことがどうしてもあった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	0	0	13 人
②	虐待は行われていない	9	4	0	0	13 人
③	プライバシーが守られている	2	11	0	0	13 人
④	必要な方に成年後見制度を活用している	0	5	3	5	13 人
⑤	適正な個人情報の管理ができています	1	12	0	0	13 人

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・身体拘束、虐待は行われていない。 ・研修により職員の身体拘束、虐待防止に対する意識が以前より高まっている。 ・事前に話し合うことで安全に見守りや業務を行えるようにしている。 ・公的制度が必要な方等は管理者（ケアマネジャー）が主導で対応している。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・時々、プライバシーの配慮に欠けていることがある。 ・成年後見制度を活用している方が居らず、詳細をあまり知れていない。 ・利用者が居るホール内でその場を離れられない状況下でも急ぎ、確認作業や利用者対応を依頼しなければいけないこともある。 ・特に昼食後等、職員の休憩とも重なり 1 日の中で 1 番人員が薄くなる時間帯のイレギュラー時には慌ててしまい、遠くに居る職員に対して大きな声でやり取りをしてしまい、プライバシーの配慮に欠けてしまう時があった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
利用者の尊厳が維持できるよう自立・自律支援とリスクマネジメントの重要性も理解しているが故に倫理的ジレンマが生じることが多々ある為、倫理的ジレンマに気づき、利用者にとって不利益にならないことは何かを話し合う機会を日々のミーティングの中に盛り込んでいく。	